

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

京都府向日市

A・Mさん

この度、息子が19歳となり、給付が完了したとお知らせをいただきました。主人が亡くなり、今年の8月で13回忌を迎えます。

加入当時、長男が高校へ入学、長女が中学2年、次男が小学校へ入学したばかり、その後すぐの父親の交通事故、そして死、深い深い悲しみと同時に、これからどうして生活をしていけばいいのか何も考えられず、頭の中が真っ白になってしまいました。そんな時、交通遺児等育成基金のことを知り、金銭面でも精神面でも支えていただいたおかげで一歩一歩ですが、前へ進んでこられたように思います。

長男は社会人、長女は大好きな子ども達といっしょにいられる幼稚園の先生になり、次男は大学生となりました。今は大学生活を毎日楽しく送っています。そして将来の自分の道をゆっくり見つけて欲しいと思っています。

本当に今まで長い間お世話になりありがとうございました。

新潟県魚沼市

K・Cさん

今年は次男(小6)の小学校最後の遠足でした。しかし登山だったため、雨で一度は延期、その後も天気恵まれず結局登山は中止。私はボランティアで参加する予定で事前に一度その山に登ったりと、とても楽しみにしていたのですが、行けなくなってとても残念でした。長男の遠足にも参加し、とても爽快で気持ち良かった頂上での昼食は、一生の中でも思い出に残る遠足になりよかったです。次男は野球をやっているの、そっちの「追っかけ」がとても忙しい秋でした。それもシーズンオフになり少し寂しく感じています。

来年は子供と一緒に登山し、(できれば)富士山に行きたいと思っています。

群馬県佐波郡

K・Nさん

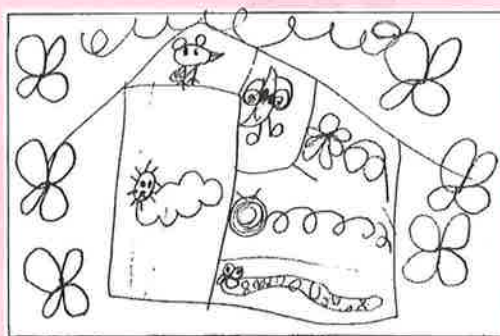
長い間お世話になりました。お祝いありがとうございました。

子ども達もすくすくと成長し、大変な事もたくさんありましたが、こうやって生きてこられたのも、主人がどこかで見守って助けてくれたという思いと、社会的にしっかりした、公的な団体の交通遺児等育成基金があり、ずいぶん経済的にも精神的にもささえていただいたと思います! 温かいお心がとても嬉しいです。生きているといいことがあるのだなあと、人の温かさを感じるこの頃です。何も恩返しをすることができませんが、私と子ども達がこれからも元気に明るく自分の人生に感謝しながら生きていくことが、一番の恩返しだと思っています!

お世話になりました皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました!

滋賀県東近江市

うみこさん(7歳)



『わたしのかんがえたどうぶつ』

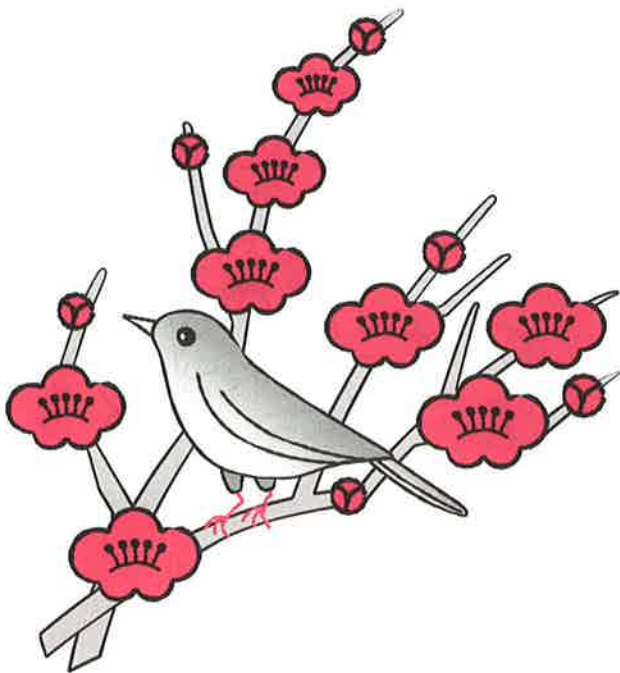
大阪府高槻市 N・Rさん

この度は育成給付金の完了にあたり、過分のご心配を頂き、誠にありがとうございました。次男は6カ月の時に父親を交通事故で亡くし、その時以来ずっと19年間長きにわたり、交通遺児等育成基金には大変お世話になりました。おかげで教育費は心配なく今日まで安心して育ててまいりました。心から感謝しております。

現在、次男は浪人中ですが毎日元気に予備校に通っています。将来は、亡き父と同じ理系に進みたいと夢を持って頑張っています。とてもいい子に育ち、私も今とても幸せです。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございました。

千葉県我孫子市 N・Mさん

子供2人で約15年間、3カ月毎に決まった金額が振り込まれるという事は、精神的に気持ちが楽になり、非常に助けられました。修了にあたり感じたことは、基金修了年齢が19歳ではなく、22歳になるとよかったな〜と思いました。ほとんどが高校より上の進学を希望すると思ったので…ありがとうございました。



大阪府堺市 I・Kさん

4歳だった長男が15年もたって…早い！本当にあっという間でした。交通遺児に突然なり、しかしかけがえのない貴重な人生を歩ませただけのことに感謝しています。大切なことを親子共々学べた15年間でした。苦勞した分だけ、涙した分だけ、今、本当に幸せだなあと思えるようになりました。本当にありがとうございます。亡くなった主人と同じ芸術の道へと歩み始めた長男を頼もしく思います。

縁あって再婚し、次男も誕生しましたが、縁切れて(笑)離婚し、母子家庭に戻りましたが、楽しいファミリーです!! 交通遺児等育成基金のことを知らずに過ぎていたらえらいことでした。本当にありがとうございました! これからも支えていってください。

静岡県沼津市 Y・Hさん

主人が亡くなった時、娘は年長の5歳でした。その娘も大学1年になり、文芸学科にて文章を書くことを勉強しております。今まで基金のおかげで学費の心配もなくやりたいことをやらせてあげることができ大変感謝しております。娘の夢は小説家です。読書も好きで、今回の図書カードも大変喜んでます。交通遺児の夢のために、これからもがんばっていただきますよう、また皆様お体をご自愛いただきますようお祈りしております。

【基金事務局より】

新年明けましておめでとうございます
昨年、東日本大震災という大きな災害に見舞われ、日本にとって大変な一年となりました。今年には希望を持って歩いていける年にしたいですね。

当財団も昨年の11月に(財)交通遺児等育成基金として新たなスタートを切りました。新法人として、加入者の皆さんに対しての援護活動に、一層力を入れてまいります! ご意見、ご要望などどんどんお寄せ下さい。

今年一年、皆さんにとってよい年になりますように。